

経済産業委員会

平成27年9月4日（金）

午前11時07分～午前11時35分

議会第3会議室

【出席委員】重田音彦委員長、久米勝博副委員長、野中宣明委員、山田誠一郎委員、
中野茂康委員、川原田裕明委員、千綿正明委員、中山重俊委員、
嘉村弘和委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】なし

【執行部出席者】

・経済部 池田経済部長
ほか、関係職員

【案件】

・付託議案について（決算議案審査）

○重田委員長

ただいまから経済産業委員会を開催します。

本日の日程については、お手元に配付しております次第のとおり進めたいと思います。

まず最初に、事業に関する執行部からの説明を受けた後、意見・提言を行う案件に対する各委員からの意見確認を予定しております。

これは、最終的に委員会として意見・提言を行うべき案件の確定と、来週8日の委員間討議をスムーズに進めるために、あらかじめ各委員の意見を資料化するために行うものです。8日の委員間討議は、本日、各委員から出していただいた意見をもとに、委員会としての意見・提言をまとめていく形を予定しております。

なお、次第とあわせて配付しております資料1につきましては、本日、各委員から意見を出してもらった際の視点を示しておりますので、執行部からの説明を受けて、自分の意見をまとめる際のメモとして御利用ください。

それでは、経済部観光振興課からの説明を求めます。

観光情報発信会館について説明をお願いいたします。

◎観光情報発信会館について 説明

○重田委員長

そしたら、ただいまの説明について、委員の皆さんから質問等がありましたらお願いします。

○川原田委員

きょう視察に行った場所については、私が御指摘申し上げたんですけども、この前の私

の発言について撤回しなければいかなのかなというぐらいにきちとなっていたということで、慌ててやったのかどうか知りませんが、非常によくになっていたのかなというふうに思っています。

一つお聞きしたいのは、あそこがああいうふうな形になしたということは、どなたか専門家か何かのアドバイスを受けながらやったのでしょうか。

○池田経済部長

今回のレイアウトの変更ということですね。

先ほど申し上げましたとおり、今回の議会のほうが視察に入られるから整理したわけはありません。今年度に入りましてから、どこが悪いのか、どこがいいのか、どこを伸ばしたらいいのかとか、そういうことまで含めて従業員の方に指導していただいています。

そういった中で、皆さんとの話がついて、変更に入ったところでした。ちょうどそのタイミングが一緒になったということで、全体構成を変えるのには、今後もうしばらく時間がかかると思います。それは皆さんのほうで、ぜひお休みの日とかに行っていて、確認していただければというふうに思っております。

○川原田委員

会館の中については、ある程度、努力の跡が見えるかなというふうな感じがしたんですけども、あそこは行政が言っていますように、南部の観光情報発信の拠点というふうな形にするのであれば、一つ気になったのが、徐福像の周辺について、ちょっと何か雑木林のようにしているので、あの辺からきちっと見せないといけないのではないかなというふうな感じがしました。

1回きちっとやって、日々ちょこちょこやっていたら、そんなに手間がかかる問題ではないと思うんですけども、あそこまでなってしまうと、相当労力が必要になるんじゃないかなというふうに思うわけですね。まずは見た目からということで感じたんですけど、その辺についてはどうでしょうか。

○古賀観光振興課長

御指摘のとおり、きょうごらんになられたところはちょっと草が伸びておりました。年に2回程度、草の刈り取りを行うと同時に、ちょっと伸びているときは、職員で刈ったりすることもおこなっていますが、やっぱり夏場は特に伸びるのが早く、先日も少し刈ったんですけど、確かに御指摘のとおり、きょう見たらまた伸びておりましたので、その辺はなるべく見た目が悪くないように気をつけて対応していきたいと思っております。

○川原田委員

今後そういうふうにやっていただければと思うわけですが、徐福像にしても、相当なお金がかかっていると思うので、あの辺はきちっと——何と言いますか、私も草刈りとかの作業は余り詳しくありませんけども、1回きちっとやってしまっ、あとはローラーみたいなやつがあると思うんですね。あれを1つ準備しとけば、暇々でできると思います

ので、その辺も含めながら、ぜひ検討して、実施していただきたいということを要望しておきたいと思います。

○山田委員

今、川原田委員が言われましたけども、私も全く同じ意見です。私たちはこの前、三重津海軍所跡を視察に行ったんですけども、やはりそこも一緒でした。草が生えていてですね。だから、ドロンパだけでなく三重津とか、そういう関連したものを一つのものと考えて、そういうことをやっていただければなと思っております。

○千綿委員

私は前を知らないんですけども、率直な感想としては、観光情報の発信という点では非常に欠けているなという印象を受けました。単なる産直というぐらいの感覚ですね。

だから、やはり情報発信会館というのであれば——情報発信を今からされるということではありますけれども、もう少し工夫すべき必要はあるんだろうなというのが1点と、商品構成の中で、僕はもう前々から言っているように経済部と農林水産部は連携をとらないとだめですね。6次産業化で、例えば諸富の山領君のたまねぎドレッシングも見当たらなかったんですが、ありましたか。なかったでしょう。結局6次産業化でできた商品とか農工商連携でできた商品とかもあるじゃないですか。ああいうところにはやっぱり——農林水産部は売りたいという気持ちがあると思うので、そこは連携してやっぱり商品構成の中に入れていくべきじゃないかなと私は思います。目新しい黒にんにくとかココナッツオイルとかを置いてあったんで、これはなかなかおもしろいなと思ったんですが——だからそういう商品構成も含めて、ほかの農林水産部との連携、6次産業化の商品とかあるわけじゃないですか。せっかく売り出しているのにかかわらず、そういったところがないのもちょっと、佐賀の産物として頑張っているところの商品を置いてあげたほうがいいのかなという気がしますの。あとはやっぱり情報発信会館としての機能があれでは、そこに来てから南部もしくは佐賀市の観光情報の発信になっているとは到底思えないですね。

だから、情報発信会館としてするのであれば、そこはもう少し工夫してやらないと、あそこに来たからといって佐賀の観光がわかるかということ、ほとんどやっぱりわからないと思いますよ。そこはもうちょっと力を入れてやらないと、せっかく経済部が観光のものを持っていますから、そこにもっと行ってみようと思うかどうか、「W・R・S・B」のビデオは流していましたが、あれで行きたくなるかもしれませんけど、行く人もおるかもしれないけど、もう少し情報発信の仕方を考えてやらないと、あれで、例えば、大川の人たちが来て、佐賀のここを回ろうという話にはならないのかなという気がしましたので、ちょっと工夫が必要かなと思います。

○池田経済部長

農林水産部の話も出ましたので、私のほうでお答えさせていただきます。

まずは、情報発信についてです。1番はトイレなんですね、トイレで休憩していただく。

結構バスが年間何百台と来ていただいていますので、トイレで休憩していただく。次にお土産を買っていただく、そういうことが情報発信の一つだと思っています。

それと、私たちがやっぱりもっと外に情報発信しないといけないのと、それから会館を運営している人たちが、観光情報を皆さんにお伝えしようという気持ちが必要だと思っています。

今回指導していただいている内容の中に、職員の方たちの研修というのが非常に重要な要素として入っています。それを今取り組んでいただいています、随分変わってきていると思います。そこに観光情報を売り込んでいくという要素も付加していきたいと思っています。

それから、6次産業化の話が出ました。農林水産部との連携という意味では、設置した当初から、前は田中部長が農林水産部長だったと思いますが、田中部長とずっと話をしながら進めてきました。まだおっしゃるとおり欠けている部分もあると思います。山領君については、うちが商品を扱っていますので、置いていないのはちょっとおかしいなと思いますが、ちょっと確認します。大体、我々が扱っている分は置いておるんですが、そういった分、6次産業化とか、市で実際に取り組んだ分は優先的にあそこで取り扱っていきたいというふうに思っております。連携は、今後とも図っていききたいというふうに思います。

○嘉村委員

観光情報の発信については十分じゃないということをおっしゃいましたので、意見としては、千綿委員の意見と同感なんです。全く機能を果たしていないなというのを感じております。

そこで、やっぱりあそこで見て回る、買って回る、そして食べて回るという発想で何か今後、そういう考えのもとで工夫ができないかと。例えばそこでスタンプをもらえば、周辺のレストランとか、あるいは食堂でもいいでしょうけど、そういうところで幾らか割引をすとか、あるいは何か一品つけてくれるとかね、そういうのがあったり、それから、もうちょっと観光ロードマップというのかよくわかりませんが、そういうものをきちんと置いたりする。それからコンシェルジュは館長が兼ねているということだったんですけど、もう少し詳しく上手に説明できる方がいらっしゃればいいのかという感じがいたしております。いずれにしても、東の入り口ということでありましょうから、そういう工夫も必要かなと思います。

きのうちょっと、佐賀市のホームページから観光情報発信会館に入っていったら、確かにフェイスブックでも発信されていましたね。だから、あらゆる媒体を使った宣伝も、徐々に効果が出てくるのかなという感じがしています。

それから、商品についておっしゃるように地場産品が少ないですね。福岡のものがあつたり、熊本のものがあつたりして。そういうものよりやっぱり地元のものを置くという考

え方に立っていただきたいなと思います。

○古賀観光振興課長

まず、観光情報がやはり弱いという御指摘です。おっしゃるとおり、もともともろどみ一番館からの流れもありまして、そういったところで、観光情報をどのように発信していくのか、これまでも検討していますが、試行錯誤をこの1年間してきたという現状があるのも事実であります。今さっき部長が申し上げましたとおり、どのような形で物産という面も——物産の販売というのも重要な観光情報の発信でありますし、それ以外の、今おっしゃったような、本当に佐賀市全体にまたがるような観光情報の発信というようなことも今後検討していかなければいけないと思っております。

特に、今回、南部は世界遺産とラムサール条約ということで注目されていますので、そういったところの情報発信基地ということで、まずは、そういったところの取り組みを今後強めていかなければならないというふうに思っております。先ほど御指摘がありましたようなスタンプとか、そういった付加価値をつけたような施策も検討は必要であろうと思っております。

それから、コンシェルジュの件ですけれども、これは今年度の事業になりますが、県の段階チャレンジ交付金を活用して、指定管理者であります佐賀南部特産物販売所運営協議会がガイド、特に南部観光に関するガイドを育成するというような取り組みを交付金を使ってやろうということで、今準備をされております。

これから、そういった方々を育てていって、あそこのドロンパを基点に観光ガイドというような取り組みも行われていかれるのではないかとというふうに期待はしております。

○中野委員

きょう視察をさせてもらいました売茶翁のところに置いてあった和菓子の評判がいいということをおっしゃいました。営業努力をされているということをおっしゃいましたが、なかなか諸富のほうでの出店が難しいということをおっしゃいました。売茶翁のところで評判がいいし、そういうものを諸富のほうにも置けるように、どういう形をとったらいかなということをお聞きしたいんですけども。

○池田経済部長

今回、整理していただいたおかげで館内にはスペースが随分できています。そこに、ぜひ佐賀市を代表するお菓子を置きたいというふうに思っています。

これは、菓子組合と、それからやっぱり、あそこの館長はバイヤーも兼ねておられるわけですから、バイヤーであるあそこの館長さんと、それから、菓子組合と話し合いをしていただいて、いい商品をチョイスしていただいて、あそこに並べていただくというふうな話にしたいと思っております。

今、売茶翁のところで評判になっているというお菓子の話については、その件も含めて、諸富のほうにも話をしたいと思っておりますので、そこで選んでいただけるような努力というの

はしていきたいと思っています。

○野中委員

今、中野委員のほうからも質問がありましたように、お土産品ということで、市内の地場のお菓子とか、そういった部分を行政の後押し、コーディネートといいますか、今、部長が答弁されましたように、そういうのも重要ですし、また、地元で商品開発というか、そこら辺も努力はされているみたいなんですけど——きょうもちょっとそういうお話を現地で聞かせてもらったんですけども、なかなかやっぱりノウハウとか資金面とかで苦慮しているという話もありました。そこら辺でぜひ、いろんな形で行政のできる限りの支援といったものも欲しいなという声も上がっていましたので、そこら辺をぜひできたらなと思います。

○古賀観光振興課長

今、ご質問にありましたように、地場産品の件ですね、特に地元の新たな商品の開発とか、そういったものは観光という面におきましても非常に重要であるというふうに考えています。観光商品開発と言う意味でもですね。

ということで、その辺につきましては、また現場のほうとも、いろんな現場の意見とかをお聞きしながら、どういったことが可能なのかということについて今後研究させていただきたいと思います。

○中山委員

私は初めてヤサイダーというのを見たんですよ。こういうのがあるんだと思いました。先ほど6次産品の話もあったんですけど、ヤサイダーというような、ああいう形の商品ができていけば、千綿委員も言われていたような形で出していければいいのではないかなというふうにちょっと思ったところですね、感想としては。

ただ、最初に皆さんも言われておりましたように、情報発信というか、そういう点ではちょっとまだ物足りんなというふうに思ったところです。答弁は要りません。

○重田委員長

ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ほかに質疑がないようですので、これで経済部観光振興課の事業説明を終了します。

執行部は退席していただいて結構です。

◎執行部退室

○重田委員長

そしたら、次第の2番目、意見・提言を行う案件に対する各委員からの意見確認を行いたいと思います。

現時点で、提言・意見を行う案件の候補につきましては、観光情報発信会館についての1件となっておりますが、この案件について、意見・提言を行うことにしたいと思います

が、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

それでは、そのように決定いたします。

次に、観光情報発信会館について、委員ごとに意見・提言を行う必要性、理由、背景等、そして案件に対する意見・提言をお願いしたいと思います。

そしたら、これは全委員から一言ずつお願いしたいと思います。

○川原田委員

私もちょっと言い損なっただけですけども、皆さんの統一した見解で本当に情報発信基地としては弱い、何のための情報発信基地かというふうなことは思っております。だから、その辺をきちっと整備しながら、本当にあそこから発信して、どんどん広がっていくというふうなことを、この前も言ったようにしていかないかと思っていますので、その辺はきちっと経済産業委員会の統一した見解ということをお願いしたいと思います。

○山田委員

それと、きょう通仙亭にちょっと寄らせていただいたんですけど、やっぱり中心市街地の情報発信基地としては非常にいい役割を果たしていると思います。

だから、私はドロンパと通仙亭がしっかり連携していかなきゃいけないと思います。そして相乗効果を生むというような形をとって、連携をしっかりということも入れていただきたいと思います。

それと、この間の委員会でも言ったと思いますけども、せっかく観光振興課にJTBのほうから出向してきていただいているので、ドロンパにデスクの一つでも置いて、やはり、そういう仕事をしていただくというようなことも積極的にやっていただきたいと思っております。常駐でなくても、たまには行ってお互いに情報を共有しながら意見交換をするとか、そういうこともぜひやっていただきたいと思っております。

○中山委員

先ほど山田委員からも言われたように三重津海軍所跡とか、ラムサール条約の東よか干潟ですね。あそこが観光発信基地となっているならば、ここからそういうところに行けますよという地図や案内マップを、例えば車で何分ぐらいで行けますよとか、そういう大きな看板が一つあればまだいいし、そういうのをやっぱり紙でもあれば大分いいのかなという感じを持ちました。

○嘉村委員

ちょっと感じたのは、佐賀市全体のイベント情報なんかをあそこに掲示してもいいけど、モニターがあったから、あれに流したりして出すとか。それから、さっき言われたように、ドロンパは特に南部だと思うんですね。だから、三重津海軍所跡とラムサール条約湿地の東よか干潟、ここまでの動線をつくって、例えば自転車で楽しんでもらうとか。そのためには何分ぐらいでそこまで行けますよとか、途中で食事どころがあれば、そういうところ

と提携して、そこで御飯を食べてもらって、スタンプがあれば、何かこうサービスがあるとかね、そういうことを少し考えていかないと、おもしろみがないんじゃないかなと思うんですよ。だから、ちょっと具体例を挙げましたけども、そういう工夫をやっていただきたいなと思っています。

○野中委員

今の嘉村委員の意見に関連してなんですけども、やっぱり動線をつくっていくということで、最後に言われた観光ボランティア、そういうガイドということで、例えばバスが来たならそれに乗り込んで連れていくとか、そういったことも今、検討されているみたいなんですけども、あそこはちょうど川べたですし、遊覧というか、逆に今度は川から三重津海軍所跡を見るとか、有明海のほうまで出てラムサール条約湿地の東よか干潟あたりまで行けるかどうかはわからないですけども、そういった工夫といった、陸地での情報発信と、またそういう川を使ったやり方など、そこら辺の工夫といったものをぜひ——これは地元だけでは恐らくできないので、官民一体となることができるような整備をぜひしていただきたいなという思いはあります。

○千綿委員

肥前通仙亭もしかり、チラシをいっぱい置いてあるんですけども、ICTの活用がなっていないですね。要はQRコードを入れると。紙の媒体では書ける量が決まっていますから、QRコードを入れてインターネットで見れるようにしてやると情報量が飛躍的にアップするんですね。だから、チラシにはそういうQRコードをどんどん入れて、やっぱりICTに対応していくということも当然必要だと思うんですよ。

だから、情報発信ということで考えたときに、今はもうスマホの利用がどんどん伸びています。パソコンからよりかはスマホからのアクセスが多いんで、そういうことを考えたときにやっぱりQRコードの利用というのは、観光情報でも今から物すごく大きくなっていくのかなと思うんで、そういったこともぜひ、提案として入れていただければなと思います。

○山田委員

私はやはり今いらっしゃるスタッフの意識改革が一番必要だと思うんですよ。だから、私はあえて言いますが、館長さんあたりも、例えばドロンパにずっといるんじゃなくて、やはりバイヤーとしてちょっと市内を回って6次産業化した商品を探し歩くとか、そういうことも必要だと思うんですよ。だから、私はやはりあそこのスタッフの意識改革というのも非常に必要ではないかと思います。もし人が足りなかったら、また増員してでもやっていただきたいと思います。

○重田委員長

ほかに。

もう大体出尽くした感じですので、それでは、本日出していただいた意見を整理して、

来週火曜日、8日の委員会で委員間討議を行いたいと思います。

次回の委員会は9月8日火曜日の午前10時に開催いたします。

結構きょうはいい意見がどんどん出たから、その辺をある程度整理して、また委員間討議をします。ですので、もうちょっと言い足りなかったという部分があれば、8日にまた資料を見て意見ををお願いします。

それでは、本日の経済産業委員会は終了いたします。大変お疲れさまでした。